

- 2 0 2 5 -

公開研修会のお知らせ

秋のセミナー版

保育、教育の現場でニーズの高いテーマについて、
実践経験豊富な講師陣がわかりやすくお伝えします。
1日で1つのテーマ（3講義）を学ぶ、対面によるセミナーです。

秋のセミナー 日程とタイトル

10月12日（日）	S9 動きのぎこちなさがある子の支援 —DCD（発達性協調運動障害）を学ぶ
10月13日（月・祝） 同日程で同時開催	S10 困る行動への理解と対応
	S11 学齢期に身につけておきたいこと —思春期への対応も含め
10月19日（日）	S12 幼児期の自己コントロール力を高める
10月26日（日） 同日程で同時開催	S13 愛着や発達の課題を抱えた子どもたちの理解と支援
	S14 発達障害・知的障害のある子の「感覚」への支援
11月9日（日） 同日程で同時開催	S15 発達障害・知的障害のある子の育ちを支える 教材と支援の実際
	S16 感情をコントロールする力を高める
11月16日（日）	S17 指導に活かす発達の評価 —WISC-Vを中心に
11月23日（日・祝）	S18 遊びを通して発達を促す —感覚やワーキングメモリへのアプローチ



The Japanese Association on Intellectual and Developmental Disorder

発達協会

公益社団法人 発達協会

<https://www.hattatsu.or.jp>

2025秋のセミナー 開催要項

時間帯 受付9:45～ 第1講10:15～11:45 第2講 13:00～14:30 第3講 14:50～16:20

受講料 1 セミナー 9,900円(税込) ※セミナー単位の申込みです。
正会員・賛助会員は会員価格 8,910円(税込)

会場 東京ファッションタウン (TFT) ビル東館9階研修室
〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11
最寄り駅：東京ビッグサイト駅(ゆりかもめ)徒歩1分 国際展示場駅(りんかい線)徒歩5分

定員 120名～160名(定員になり次第締め切ります)

お申込み(チケット購入と受講までの流れ)

希望するセミナーのPeatixページで、お一人様1枚のチケットをご購入ください。

<https://peatix.com/group/11688302> →

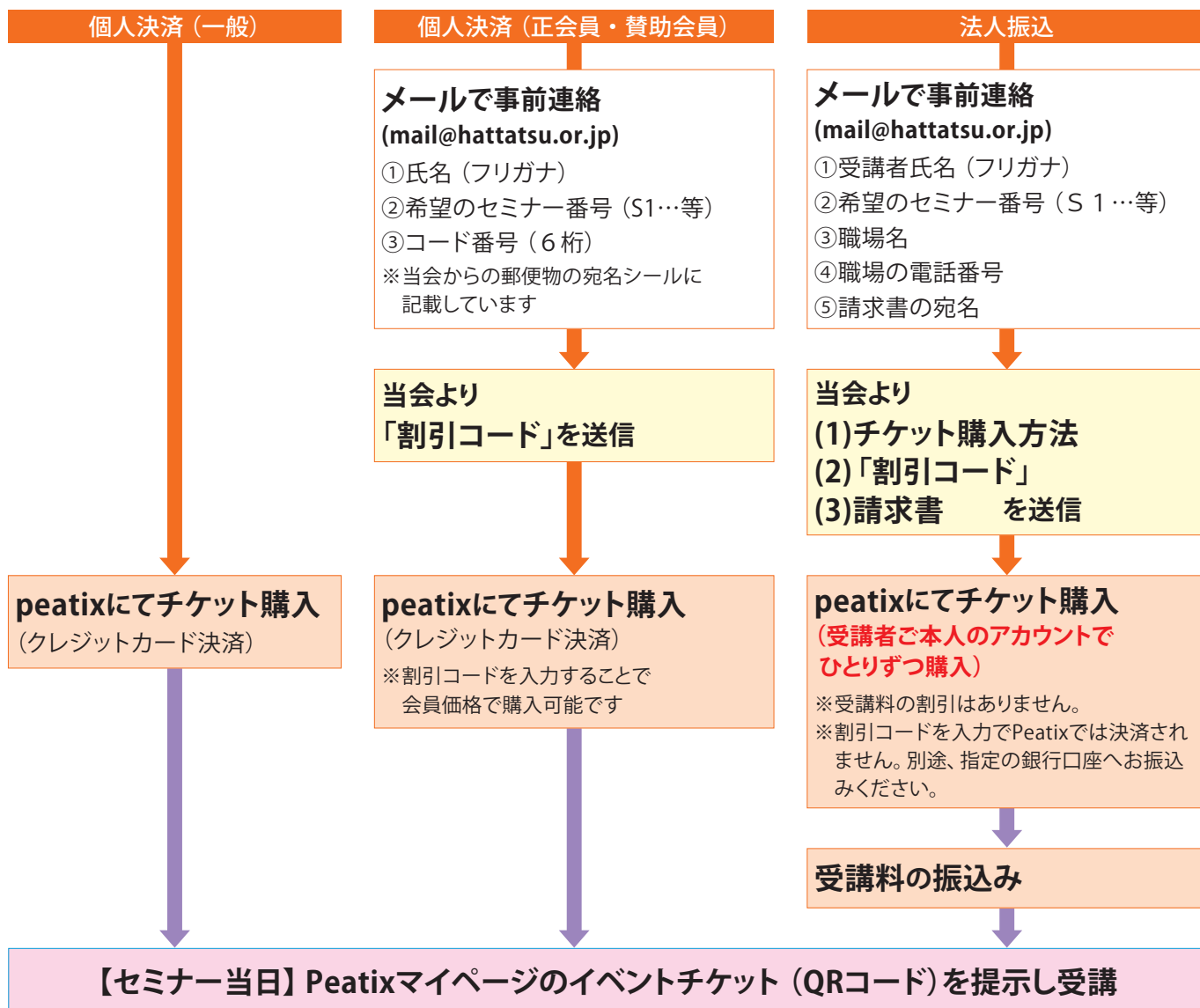


※正会員・賛助会員の方や法人振込をご希望の方は、事前連絡が必要です。詳細はPeatixをご参照ください。

※チケット購入には、Peatixアカウントが必要です。新規登録またはログインの上でご購入ください。

※チケット販売期限やキャンセル、ご返金が可能な期限については、セミナーごとに異なります。申込みされるPeatixページでご確認ください。

※チケットを購入された時点で申込み完了となります。チケットを購入されていない方は参加できません。



キャンセル

- ・キャンセル、ご返金が可能な期限内にご連絡をいただいた場合、キャンセル処理をいたします。
- ・キャンセルの場合は、必ずPeatixチケット画面にある「主催者へ連絡」または「問い合わせ」からご連絡ください。
- ・支払い日より50日以上が経過した場合には、手数料として340円が差し引かれます。
- ・いかなる理由であっても、別のセミナーへの振替は行っておりません。

ご注意

- ・同時開催のセミナーは、どちらか1つのセミナーしか申込みできません。
- ・申込み後のご案内はすべてeメールで行いますので、「@peatix.com」からのメールを受け取れるように設定してください。
- ・社会状況の変化により、中止になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・会場の都合により、会場での書籍の販売は行っておりません。

お問合せ**公益社団法人発達協会**

〒115-0044 東京都北区赤羽南2-10-20 TEL03-3903-3800

ホームページ <https://www.hattatsu.or.jp> メールアドレス mail@hattatsu.or.jp

秋のセミナー アンケートより

具体的な遊びや、その遊びから得られる感覚、力が何につながるのか、よくわかりました。(保育士)

愛着障害のあるお子さんの状態像や発達障害との関係など、実際の体験を含んだ話で、イメージがしやすかったです。(教員)

DCDのある子が学級で孤立しないように、集団の中でできることを探るという視点を学び、とても勉強になりました。運動会の表現運動など、苦手だから取り組みないのではなく、その子ができるように支援したいと思います。(教員)

子どもにも、私たち自身にも凸凹があることを改めて「そうだなあ」と思わせてもらえました。その上で、凸凹と付き合いながら、周りの助けも上手に借りながら、その子自身が困ったままにならずに社会参加ができるような基盤を作っていけるような支援をしたいと思います。(福祉施設・指導員)

子どもたちの“生きにくさ”について、改めて考えさせられました。自尊心や自己肯定感が低い子どもも多く、療育の中でもどうやっていくと高められるのかとよく話に上がっていました。子ども自身・その子らしさを受け止めるという考えに感銘を受けました。自立に向けて、療育者に何ができるかを職場でも共有していきたいと思います。(福祉施設・指導員)

わかりやすくご講義くださり、WISC-IVとの相違も含め、各指標の意味合いについて理解することができました。(公認心理師)

丁寧でわかりやすかったです。とくに、聴覚優位の子どもの臨床像とかかわり、有効な教材についてはとても参考になりました。(作業療法士)

感覚に難しさがある子どもがいることは知っていましたが、過反応、低反応の説明を聞き、子どもたちを見てなぜ?と思っていたことがよく理解できたように思います。(特別支援学校教員)

脳の機能、発達障害の子に当てはめて考える事の大切さを学びました。大変勉強になりました。情報を整理してまた臨床に活かします。(言語聴覚士)

科学的視点と子ども達への愛情が根底にある講義、とても学びになりました。私も保育園で医療的ケア、内部疾患、神経発達症、様々な国籍と、集団保育で課題はありますが今回の学びを基に、枠組みを保育士さんと話し合っていきたいです。(看護師)

2025年10月12日(日) 1セミナー

S9

動きのぎこちなさがある子の支援 ーDCD(発達性協調運動障害)を学ぶ



対象年齢: 幼児 | | | | | 青年

医学的な理解とともに、園や学校で活かせる実践的な支援を紹介します

DCD(発達性協調運動障害)をご存じでしょうか。DCDは極端な不器用さ、動きのぎこちなさを特徴とする発達障害の一つです。この不器用さは、運動だけでなく学習や生活など、あらゆる場面で当事者の子どもを困らせています。子どもが自信を失わずに活動に参加するには、周囲の配慮が欠かせません。このセミナーでは、医学的な視点からDCDについて理解した上で、園や学校で取り組める具体的な支援を学びます。

10月12日(日)	10:15 ~ 11:45	DCD(発達性協調運動障害)とは	古荘純一(青山学院大学)
	13:00 ~ 14:30	DCDの支援の考え方	東恩納拓也(東京家政大学)
	14:50 ~ 16:20	DCDの支援の実際	東恩納拓也(東京家政大学)

2025年10月13日(月・祝) 2セミナー 同時開催

S10

困る行動への理解と対応



対象年齢: 幼児 | | | | | 青年

様々な行動の問題。子ども自身も困っているかもしれない、という視点も

発達障害・知的障害のある子が起こす行動の問題。周りも対応に苦慮しますが、実は子ども自身も困っているのかもしれない。子どもがどのように世界を捉え、感じているのか、その感覚や認知の仕方を理解しつつ、行動を変えるために、どう関わればよいかを学びます。小児精神・神経科医の立場から考えられる「対応のコツ」についても…。

10月13日(月・祝)	10:15 ~ 11:45	困る行動への理解と対応のコツ	広瀬宏之(横須賀市療育相談センター)
	13:00 ~ 14:30	感覚の困りごとへの支援ー感覚の特性をふまえた関わりと工夫	松島佳苗(関西医科大学リハビリテーション学部)
	14:50 ~ 16:20	イライラ・パニック等への対応ー行動改善を支援する関わり方	小嶋悠紀(株RIDGE SPECIAL EDUCATION WORKS)

S11

学齢期に身につけておきたいこと ー思春期への対応も含め



対象年齢: 幼児 | | | | | 青年

その子の数年後をイメージしてみましょう

「思春期」は子どもから大人への移行期です。心や体、環境の変化が大きいだけでなく、自己理解が深まり、周囲との違いに気づいて戸惑う子もいます。発達障害・知的障害の子どもだけでなく、診断はつかないけれど特性のある子どもたちが自己肯定感を保ち、充実した社会生活を送れるようになるために、学齢期のうちに身につけておきたいことは何でしょうか。子どもから大人になるまで、成長に寄り添ってきた講師陣がお伝えします。

10月13日(月・祝)	10:15 ~ 11:45	生きにくさを抱えた子の育ちー医学の視点から	田中 哲(子どもと家族のメンタルクリニックやまねこ)
	13:00 ~ 14:30	発達障害・知的障害のある子の発達段階に応じた支援ー不登校など二次的な問題への対応について	長澤正樹(元新潟大学教職大学院/新潟市スクールカウンセラー)
	14:50 ~ 16:20	自己決定・自己理解を育てる支援	長澤正樹(元新潟大学教職大学院/新潟市スクールカウンセラー)

2025年10月19日(日) 1セミナー

S12

幼児期の自己コントロール力を高める



対象年齢： 幼児 | | | | | | | 青年

人との関わりや行動に関与する自己コントロール力。なにから、どう取り組めばいいの？

子どもは日々学び、成長します。それは発達障害の子どもも同様です。成長の過程で人との関わりから様々なことを学び、持っている力を発揮するためには、自分をコントロールする力も必要です。幼児期から発達していくと考えられている自己コントロール力。発達段階に合わせた支援の実際とともに、子どもが失敗してもまた立ち上げられるようなしなやかさを育てる「レジリエンス」についてもお伝えします。

10月19日(日)	10:15 ~ 11:45	自分をコントロールする力ー実行機能の発達を中心に	森口佑介(京都大学)
	13:00 ~ 14:30	自己コントロール力を高める支援の実際ー社会性の発達をふまえて	小倉尚子(公益社団法人 発達協会)
	14:50 ~ 16:20	「自分と折り合いをつける力」を育てるーレジリエンスとは	藤野 博(東京学芸大学)

2025年10月26日(日) 2セミナー 同時開催

S13

愛着や発達の課題を抱えた子どもたちの理解と支援



対象年齢： 幼児 | | | | | | | 青年

あたたかい関わりで子どもたちに寄り添いましょう

「虐待」「毒親」といった言葉が目目されている近年、愛着形成に課題のある子どもへのケアにも関心が高まっています。支援者は、対人関係がうまくいかない、反抗的な態度を取るといった子どもをどう理解し、関わればよいのでしょうか。愛着の形成が遅れやすい発達障害との関連も含め、子どもたちと関わる上での考え方から、園や教室での具体的な支援まで、松久先生が豊富な経験をもとにお話しします。

10月26日(日)	10:15 ~ 11:45	愛着や発達の課題を抱えた子どもたちの理解	松久眞実(桃山学院大学)
	13:00 ~ 14:30	愛着や発達の課題を抱えた子どもたちの支援ークラスの中での個別支援を中心に	松久眞実(桃山学院大学)
	14:50 ~ 16:20	愛着や発達の課題を抱えた子どもたちの支援ー本人や保護者への対応を中心に	松久眞実(桃山学院大学)

S14

発達障害・知的障害のある子の「感覚」への支援



対象年齢： 幼児 | | | | | | | 青年

発達障害・知的障害のある子の感覚は様々です、子どもの見立てに役立ちます

発達障害・知的障害のある子の支援において「感覚」の問題に関する知識は必須となりつつあります。このセミナーでは、発達障害のある子の複雑な「感覚」を丁寧に解説し、生活を阻害しないために、どのように対応したらよいのか、支援の実際を具体的に紹介します。関連が指摘されているASD(自閉スペクトラム症)の子の感覚と不安についてもお伝えします。現場でより深く子どもを理解するための視点を学びませんか。

10月26日(日)	10:15 ~ 11:45	「感覚」の過反応と低反応	岩永竜一郎(長崎大学)
	13:00 ~ 14:30	「感覚」の問題への支援の実際	岩永竜一郎(長崎大学)
	14:50 ~ 16:20	発達障害のある子の不安への支援	小関俊祐(桜美林大学)

2025年11月9日(日) 2セミナー 同時開催

S15

発達障害・知的障害のある子の 育ちを支える教材と支援の実際



対象年齢： 幼児 | | | | | | | 青年

「子どもに合った教え方」のヒントをお伝えします

障害のある子どもに少しでも理解を促し、発達を伸ばすための課題を、と支援者が考える時、何を選び、どう教えたらいのか、迷うことが多くあります。このセミナーでは、「感覚と運動の高次化理論」により子どもの状態を把握し、発達ステージに合った支援について学びます。また、言語・コミュニケーションの発達を促す支援についてもお伝えします。教材選びから使い方まで、すぐに実践できる支援の方法がたっぷりです。

11月9日(日)	10:15 ~ 11:45	「感覚と運動の高次化理論」による子どもの理解と支援①	池畑美恵子(淑徳大学)
	13:00 ~ 14:30	「感覚と運動の高次化理論」による子どもの理解と支援②	池畑美恵子(淑徳大学)
	14:50 ~ 16:20	言語・コミュニケーションを育てる教材と支援の実際	池田泰子(東京工科大学)

S16

感情をコントロールする力を高める



対象年齢： 幼児 | | | | | | | 青年

感情のコントロールは社会適応に大きく関わります

発達障害のある子の中には、感情のコントロールが苦手な子が多くいます。困っているのは周囲の人たちだけでなく、本人も同じです。感情を乱しがちな子は付き合いづらく、その悪循環は自信喪失や二次障害につながりかねません。自分をコントロールして社会に適応する力を育てるために、支援者はなにができるのでしょうか。このセミナーでは、脳の働きから感情コントロールのしくみを押さえた上で、実際の支援を学びます。

11月9日(日)	10:15 ~ 11:45	脳の働きから子どもを理解するー神経心理学の視点から	坂爪一幸(早稲田大学)
	13:00 ~ 14:30	発達障害のある子の感情コントロール	明翫光宜(中京大学)
	14:50 ~ 16:20	感情爆発をくり返す子どもの認知の歪みと認知行動療法	松浦直己(三重大学)

2025年11月16日(日) 1セミナー

S17

指導に活かす発達の評価 ーWISC-Vを中心に



対象年齢： 幼児 | | | | | | | 青年

検査の取り方ではなく、結果を解釈し、指導に活かす方法を学びます

指導・支援を行う上で、知能検査は客観的な指標として活用されています。その解釈や活かし方には十分な知識と経験が必要です。このセミナーでは、WISC-Vを取り上げ、用語、数値の意味だけでなく、事例を通して、子どもの実態に合わせた指導例・支援例をお伝えします。なお、具体的な検査の内容についてはお伝えできません。子どもの困難さや認知特性の背景を捉え、検査結果を指導・支援に活かすために。

11月16日(日)	10:15 ~ 11:45	WISC-Vの結果の読み取り方	大六一志(公認心理師)
	13:00 ~ 14:30	知的発達の遅れ、ことばの困難、視覚の困難への指導・支援	大六一志(公認心理師)
	14:50 ~ 16:20	応用力の困難、注意力・集中力の困難への指導・支援(読み書きの捉え方)	大六一志(公認心理師)

2025年11月23日(日・祝) 1セミナー

S18

遊びを通して発達を促す ー感覚やワーキングメモリへのアプローチ



対象年齢： 幼児 | | | | | | | 青年

子どもも大人も楽しみながら、プログラムを進めましょう

生活や学習の中で、体の使い方や道具の扱いがうまくいかずに困っている子がいます。感覚の問題により、練習が進まないことも少なくありません。このセミナーでは感覚統合の考え方をふまえて、子どもの発達にアプローチする「遊び」を考え、実際に紹介します。また、「一時的に記憶すること」や「記憶した情報を操作する」脳の働きと言われるワーキングメモリについても「遊び」で育てるプログラムをお伝えします。

11月23日(日・祝)	10:15 ~ 11:45	感覚を育てる遊びー感覚統合とは	山西葉子(東京都立大学)
	13:00 ~ 14:30	感覚を育てる遊びの実際ー園や教室で取り組めること	山西葉子(東京都立大学)
	14:50 ~ 16:20	ワーキングメモリを育てる遊び	湯澤正通(広島大学大学院)

公益社団法人発達協会
動画配信「Road」



指導者・支援者・専門職 育むチカラを育てる研修教材

専門職に選ばれる3つの理由

実践的で
現場のニーズに沿った内容

いつでも何度でも
繰り返し視聴できる

新作動画が
毎月配信(予定)

個人利用も法人利用も 2つのコースでコンテンツ満載

見放題コース

子どもの発達や特性に合わせた指導・支援について、155本以上のコンテンツから、具体的に学べます。1本30分程度で、気軽に、何度でも学びの時間を持つことができます。

個人利用
月額**770円**(税込)

見放題コース
おすすめ動画
人気動画2本をご紹介します!



※法人利用は年額
詳しくはホームページをご確認ください。

発達協会ウェビナー

実践豊富な講師陣の講義を60分で学びます。1本単位での購入、視聴が可能です。セミナーで取り上げられたテーマも多数。講義資料のダウンロードもでき、学びを深められます。

個人利用・法人利用
1本**1,650円**(税込)

発達協会ウェビナー
おすすめ動画
人気動画3本をご紹介します!



個人でのお申込みは、**無料の会員登録から!**
こちら→



法人でのお申込みは
こちら→



最新の研修動画をいち早く確認したい方も、ぜひ会員登録(無料)を!

会場 東京ファッションタウン (TFT) ビルへのアクセス



会員募集

発達協会では、活動を支えてくださる正会員・賛助会員を募集しています。

会員になると、様々な会員特典が受けられます。

賛助会員の場合(一口5,000円)

年間購読料4,884円の月刊誌「発達教育」が追加料金なしで毎月届きます。

対面セミナーが会員価格で受講できます。

正会員の場合(一口10,000円)

賛助会員の特典に加え、当協会の事業を決定する会員総会で1票を投じる権利が得られます。

入会を希望される方には、当会の活動を紹介するパンフレットと申込みハガキをお送りします。申込みハガキをご返送いただき、申込みが受理された段階で入会となります。入会后、月刊誌とともに会費の振込用紙をお送りします。ぜひホームページからお問合せください。

月刊誌をご購読いただいている方もセミナーへの参加を検討されるこの時期に、ぜひ会員への切り替えを考えてみてはいかがでしょうか。

お問合せお待ちしております。



発達協会

公益社団法人発達協会

〒115-0044 東京都北区赤羽南2-10-20 TEL03-3903-3800

ホームページ <https://www.hattatsu.or.jp> メールアドレス mail@hattatsu.or.jp

